



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第48巻第  
8号)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第48巻第8号). 泌尿器科紀要 2002, 48(8): 530-530

ISSUE DATE:

2002-08

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/114795>

RIGHT:

4. 論文の訂正：査読審査の結果，原稿の訂正を求められた場合は，40日以内に，訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて，前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること，なお，Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
6. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
  - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,500円，英文は6,500円，超過頁は1頁につき7,000円，写真の製版代，凸版，トレース代，別冊，送料などは別に実費を申し受ける。
  - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は30,000円，6頁以上は1頁毎に10,000円を加算した額を申し受ける。
  - (3) 薬剤の効果，測定試薬の成績，治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については，掲載料を別途に申し受ける。
7. 別冊：実費負担とし，著者校正時に部数を指定する。

#### Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (no more than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.  
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer · PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details, refer to a recent journal.

#### 編 集 後 記

夏休みの一部を利用してニュージーランドのオタゴ大学を訪ねている。以前の留学先のボスが分子生物学の医療分野への応用を目的にベンチャー会社をおこし，その International advisory board として招いてくれているのである。2日間ぶっとおしの会議であるが，アメリカの投資会社とオタゴ大学の出資を元に，自分たちも資金を出して運営しているので会議は真剣である。私の立場は微妙だが，オタゴ大学との共同研究を推進するという形で参加している。

今，政府は大学に産学協同で知的財産を蓄積するように勧めている。我々の共同研究も将来は特許を主張できる知的財産を産む可能性がある。このような時，どう対応していいのか，多くの研究者は知らないのではないかしらと思うし，実際，明確な規定は無いのではと思う。また，2年後には国立大学は独立法人化するというが，その明確な具体像も見えてこない。こうなったのは，あまり社会との関わりを考えずにのほほんと国の制度に従ってきた我々自身の責任も大きい。これを機会に真剣に身のまわりの制度を見直してみたい。そしておかしいことはおかしい，変えるべきことは変えるべきと声をあげることが必要だと思う。

クライストチャーチ空港に降り立つと，ニュージーランド独特の土と芝生のおいがする。10年前の留学中のことが昨日のように思い出された。オタゴ大学のあるダニーデンの町も日本人を含む多くのアジア人が住むようになったが，英国の流れをくむ落ち着いた町の雰囲気は変わっていない。静かにサイエンスを考えるのには絶好の環境である。我々も日本の長所を残しながらスマートに変わっていききたいものである。

(小川 修)

---

泌尿器科紀要 第48巻 第8号 2002年8月25日 印刷 2002年8月31日 発行  
 発行 小川 修 顧問 吉田 修 発行所 泌尿器科紀要刊行会  
 〒606-8392 京都市左京区聖護院山王町18 メタボ岡崎301号 電話 (075) 752-0100  
 FAX (075) 752-0190

[http://web.kyoto-inet.or.jp/people/acta\\_uro/index.html](http://web.kyoto-inet.or.jp/people/acta_uro/index.html)

印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入

---